

# 医療 福祉 介護職 の スピリチュアルペインと Coping Strategies (対応策)

8/23

土曜日

13:30~16:45

実存的苦痛(スピリチュアルペイン)は終末期がん患者だけでなく、認知症高齢者や難病の患者とその家族にも、さらには私たち援助者にも生じている苦しみです。例えば、無力を感じたとき、業務に明け暮れているとき、誰かと分かり合えないとき、仕事の意味を見失ったときなどです。

けれども私たちは、それらを“苦しみ”と自覚するいとまもなく、次の苦しみ为重奏していく現実を生きています。しかしそれでは、医療や介護のパフォーマンス低下をもたらし、援助職のバーンアウト・抑うつ・離職・虐待行為につながりかねません。

今回の企画は私たちの臨床現場を対人援助の言語で見つめなおし、苦しみとそれを生み出す潜在性を逆手にとって、明日の臨床に生かしていくチャレンジです。ぜひご参加ください。

## 登壇者

## 的場 康徳

鹿児島大学大学院消化器外科学医師  
対人援助・スピリチュアルケア研究会理事長

## 概要

日時 2025年8月23日(土)  
13:30-16:45

会場 勤労者交流センター（よかセンター）  
7階第4会議室  
鹿児島市中央町10番地

対象

- 対人援助・スピリチュアルケア研究会  
会員、研修修了者
- 上記の方から紹介を受けた医療・介  
護・福祉職の方

主催 特定非営利活動法人  
対人援助・スピリチュアルケア研究会

## 申込

参加費 会員500円、非会員1000円

定員 30名

受付 7月22日(火)~8月12日(火)  
先着順となります。

お申込み

対人援助・スピリチュアルケア研究会ホームページの  
WEBフォームからお申込みください。

<https://www.sp-c.org/>

